

議論白熱！提案文作りが本格化

～第2回学習会 活動報告～

2024年10月14日(月・祝)

滋賀県

子ども県議会

事務局発行 / No.8



子どもたちはいよいよ提案文作成の段階に入りました！活動日には、これまでの議論をもとに意見をまとめ、提案文を書くためにチーム一丸となって取り組む姿が見られました。その様子をお伝えします。

ちょっと参加者少ないけど…

今回の活動では、急な振替実施日となり、参加者が少ない中でも、各チームで熱心な議論が行われました。一部のチームでは、決まったテーマに基づき、「どのように話を進めるべきか」を真剣に議論し、滋賀県の未来について深く考える様子が見られました。



提案文作りの様子

子どもたちは、これまでに付箋にまとめた内容をチームで再度見直し、以下のような作業を進めていました。

・課題や問題点の整理

付箋の内容を紐解きながら、課題や問題点を洗い出し、模造紙に書き直して整理。

・意見のまとめ

「私はこう考えている」「こうなってほしい」など、個々の意見を重ね、チームで意見をまとめていく過程で白熱した議論が展開されました。



苦労と学び

今回の活動では、子どもたちが以下のような苦労を経験しました。

・ニュアンスの難しさ

言葉のちょっとしたニュアンスの違いで考え方が変わり、意見をまとめる難しさを実感。

・具体性の追求

サポーターから「結局何が言いたいのか」と問われる場面もあり、自分たちの考えをより具体的に伝える必要性を感じたようです。

次回に向けて

提案文作りは次回も継続されます。今回の議論を踏まえ、より明確で説得力のある提案文が完成することが期待されます。議論を重ねるごとに、子どもたちが自分たちの考えを深め、形にしていく成長の姿が見られそうです。また、前回同様、今回も子どもたちが少しでも話しやすいようにと、学習会の中で色々とアイスブレイクができる時間も作っています。少しでも、議論の箸休めになればいいのですが…